第26号
城北学園同窓会
〒174-8711東京都板橋区東新町2の28の1 TEL03(3956)3157
平成26年4月30日発行
城北学園同窓会編集室
株式会社リーブルテック
http://johoku-obkai.com/
昭和41年発刊
初号より通算

城北同窓会報

校訓
着実　勤勉　自主

クラブ活動報奨制度がスタート

同窓会による「クラブ活動報奨制度」がスタートしました。これは、学園の中学・高校のクラブで、この1年の活動が最も顕著と認められたクラブを、同窓会が独自に選んで報奨する制度です。初めての今回は中学ラグビー部、中学・高校弓道部、高校野球部、高校美術部の4つの団体が選ばれ、報奨として、それぞれのクラブに希望の用具・備品等が贈られました。

薗口理事長・帖佐校長に目録を贈呈する芝崎会長

懸案の「クラブ活動報奨制度」が、年明けの1月にようやくスタートしました。

城北学園では、現在、中学・高校で50以上のクラブが熱心に活動しています。

こうした生徒の活動に、同窓会としても何らかの後押しができないものかと、昨年4月の常任幹事運営委員会に、芝崎有宏会長から提案され可決されたのが、この「クラブ活動報奨制度」でした。

選考に当たっては、中学・高校のクラブの中から、その1年間に最も顕著な実績があったクラブを候補として選抜。最後に常任幹事運営委員会の承認を得て決定されます。

その結果、今回は中学・高校弓道部、中学ラグビー部、高校野球部、高校美術部の4つの団体が選ばれました。

報奨として、各クラブに希望の用具・備品が贈呈されましたが、それに先立ち、1月18日に芝崎会長から薗口穣理事長・帖佐正雄校長に「目録」の贈呈が行われ、30日には、芝崎会長から各クラブに目録品の贈呈が行われました。品目は以下の通りです。

中学ラグビー部
　ボール12個
中学・高校弓道部
　弓一式を2組
高校野球部
　投手用ネット
　バッティングティー
高校美術部
　絵の具一式

新校長に小俣力先生が就任

帖佐正雄校長の勇退に伴い、4月から新校長に教頭の小俣力先生(理科)が就任されました。小俣新校長は日本大学農獣医学部を卒業、昭和62年4月、城北学園に理科の専任教諭として着任されました。

以後、教務副部長、教科主任、学年主任、教頭等を歴任、城北教育の推進役として大いに貢献され、本年4月からは校長に就任、現在に至っています。

なお、教頭には中曽隆宏先生(国語科)と保坂慎二先生(社会科)が新たに就任されました。

同窓会のホームページを開いてみませんか

同窓会のホームページ(HP)が開かれて丸5年が経ちました。その間、HPからの住所変更依頼が385件ありました。多くの方に閲覧されている証拠です。住所変更以外に同期会、クラス会、会報誌、あの人は今、城北学園昔と今、同窓会幹事会便り等のメインページがあり、さまざまな項目にアクセスすることができます。

もちろん投稿もできます。投稿はそのまま掲載されるのではなく、必ず事前に内容の確認をするチェックシステムが機能し、誹謗、中傷の類いは排除されます。積極的に投稿していただくことにより、さらに魅力的なHPを提供することができます。また、同窓会では毎年1回、会報を発行して会員の皆さんにお届けしていますが、現在、経費削減のため、会報誌を郵送からHP上での閲覧に切り替えることを検討しています。ぜひhttp://johoku-obkai.com/を定期的にクリックしてください。

石川雅弥（13回生）

平成25年度総会・ホームカミング盛大に開催されました

はじめに、安田正昭幹事長の司会で、芝崎有宏会長、薗口穣理事長、帖佐正雄学校長、山岡敬明PTA会長の挨拶が行われ、次に提案議題の説明に入り、賛成多数ですべて承認されました。

①平成24年度事業および活動報告（若井康裕副会長）
②平成24年度決算報告（若井康裕副会長）
③監査報告（芝崎正夫監事）
④平成25年度事業および活動計画案（若井康裕副会長）
⑤平成25年度予算案（若井康裕副会長）
⑥次期会長の承認（安田正昭幹事長）
　任期満了に伴い新会長に芝崎有宏氏を承認。
⑦監事退任と新監事の承認（安田正昭幹事長）
　飯島征夫氏の後任として岡崎俊城氏を承認。
⑧芝崎有宏新会長の挨拶。

総会終了後は、昨年3月に創団された、「城北学園応援団」の生徒による「エール」が披露され、盛大な拍手をもって歓迎されました。

ひき続き、大食堂にて恒例の「ホームカミング」を開催。旧制1回生を特別にご招待し、約250名の出席者を得て交歓と懇談の宴が盛大にもたれました。

若井康裕（14回生）

大盛況のホームカミング

総会の会場風景

〝城北〟の同志へ向けて

志村　弘雄（2回生）

旧制、新制の学園の掛橋的存在になった現在の私は「視点・接点ジャーナリスト」。

全国紙、私大での経験を活かして、4半世紀来「日本記者クラブ」で各界の様々な方と会う日々。

皇居、日比谷公園を一望できるラウンジで、土曜日には〝縁〟が「円」になる円卓会議を主催しているが、その後の話題は判で押したように母校談義。

〝学校〟の広報誌、同窓会報も話題になる…。

東京オリンピックの再開催で、格段の題材も増えたが、都知事選を機に、災害・高齢化が新たな課題に――。

そこで「城北公園地区」が新たな脚光（城北学園にも新たな存在観が出てくる…）。

私が折ふし手にする「同窓会報」の昨春発行号には、角川源義先生が作成された城北逍謡歌の紹介記事が載っていたが、この歌を私は折ふし口ずさむ。

「君の未来が開いていく」と銘打った学園紹介誌に掲載された「校長」のVISION――自分らしく生きる、学ぶ、それが伝統――は素晴らしい。

ところで「ディスカバー・ジャパン」「光齢化」の造語提言者になった私のもとへ、城北地区在住の有識者、東武鉄道関係者から「城北同志会」の円卓会議を開催してみては、…との提言が寄せられてきた。「城北同窓会」と「城北同志会」との接点も探索してみたいと思う。（日本記者クラブ会員）

常任幹事運営委員会の皆さんです

前列、右から。
佐藤武久（顧問）
岡崎俊城（監事）
芝崎正夫（監事）
薗口　穣（理事長）
芝崎有宏（会長）
帖佐正雄（前校長）
小俣　力（校長）
高野靖敏（事務長）
嶋野春男
高野昭夫
後列、右から。
石川雅弥（副会長）
渡辺　修
夏目暢之
木下利通
安田正昭（幹事長）
瀬戸川睦人
西田浩平
若井康裕（副会長）
高橋章朗
関根忠夫
松山英生（副会長）
飯島征英
岸　政男
大場忠道
後藤光典
竹内捷郎
長峰一真
内野大三郎

鉄道研究と在学中の思い出
―清水先生の定年退職を祝して―
窪谷 紀生（35回生）

私が高校在学中、3年間所属した鉄道研究同好会（現、鉄道研究部）の顧問を長年に亙って務められ、この度退職された清水秀義先生を囲む会が昨年8月に行われた。この際、先生の永年のご苦労を労うと共に、鉄道業界を含む各界でご活躍中のOBや在校生の皆さんと交流を持つことができた。

一時は、鉄道を趣味とする研究会の衰退が伝えられ、城北として例外でなかったようだが、近年の隆盛ぶりを見ると頼もしくも思える。

私が在学した30余年前は、4月の新入生歓迎会、8月の夏合宿とその成果発表である秋の文化祭、そして3月の卒業生送別旅行が主な活動であり、これらを通じての清水先生や仲間との思い出は尽きないが、その活動内容は現在の在校生でもさほど変わりはないようである。

ところで「鉄道趣味ってどこが楽しいの？」と尋ねられることがある。説明のしようがない。

この鉄道趣味を分類すると、列車に乗って移動する「乗り鉄」、写真を撮影する「撮り鉄」、あるいは乗車券類の収集や模型製作などが一般的だが、私は現物を取り扱う仕事についているため模型はパスで、主に「乗り鉄」。ここでは、景色を眺めているだけではなく、床下から伝わってくる振動や音、加減速感からメカ的な「動き」を観察したり、乗客の会話から方言を聞き、乗客の様子から地域の人の流れを類推することを愉しみにしているのだが、後者は新幹線や特急列車では味わえず、時間の許す限りローカル列車で移動する旅程を組むようにしている。

終わりに「鉄道研究を通じて現在の社会への認識をより広め、深めていくところに価値がある」と清水先生が話されていましたが、同感です。この文化的な営みを通じて得た知見と出会いを、これからも大切にしていきたいと考えます。

（鉄道会社勤務）

13回生同期会―なんと三十二回目です

昭和36年卒業の第13回生同期会は、毎年11月の第3土曜日と決めております。昨年も11月16日に池袋で開催しました。実に32回目の同期会でした。我々、同期生は551名、そのうち住所が判明しているのは276名で、今回、参加したのは30数名で1割強の参加率でした。それを、高いと見るか低いとみるかは別として、加齢とともに、参加者が減っていることは否めません。

それでも、嬉しいことに、毎年、新しい参加者があります。昨年も一人いました。もちろん大歓迎され、本人も喜んでいました。皆で集まれば高校時代の話題に花を咲かせ、第二の人生について盛り上がったり同情したり。そして、今回も参加できたことに対して、自分達の健康を祝しながら二次会へと流れました。

それともう一つ、我々13回生は芝崎有宏会長をはじめ、多くの同期生が同窓会の役員として活躍しています。参加者に同窓会の活動状況を説明するためにも、同期会が大切な場となっています。

これからも、この会が末長く続いて行くことを願っております。

石川雅弥（13回生）

13回生同期会

12回生の集い―井上泰英さんの叙勲を祝う―
大場 忠道（12回生）

12回生の井上泰英さんが2013年の春の叙勲で旭日小綬賞を授賞されました。井上さんは当時柔道が非常に強かった本校に高2の時に転入し、入部してすぐに全員が見守る中でキャプテンを投げ飛ばしたそうです。彼は38歳の時に下田で市議になり、23年間に議長や数々の要職を歴任し、下田市の教育・文化・福祉に多大な貢献をしたことで本賞を授賞されました。この賞は静岡県の授賞者77名中で最高位のものでした。議長をされていた時に、伊豆の植樹祭において「天皇・皇后両陛下と食事をしたこと」が忘れられない思い出だと言われています。写真は、叙勲後に同期や柔道部の仲間達約30名がお祝いした時のもので、井上さんは前列左から3人目です。

（北大名誉教授）

井上さんを囲んで

味で勝負
カレーハウス・ラハイナ
野球部OB 佐々木敏男（32回生）さんの店

佐々木さんご夫婦

初めのひと口は甘く、その甘さが、まだ舌に残るうちに、心地よい辛さに転じる、不思議な美味のカレーです。

店は、地下鉄都営三田線を本蓮沼か志村坂上で下車。志村警察署の裏手、小豆沢病院の隣にあります。「カレーハウス」の名前のとおり、ひときわ目立つ黄色い大きな看板が目印です。

オーナーの佐々木敏男さんは大学卒業後、車関係の会社勤務をへて、一念発起。生まれ育ったこの地に、奥さんの美津子さんと大好きなカレー専門店を開いて16年。カレー一筋にコツコツと研鑽を積んできました。インドとかジャワとか特定のカレー味でなく、自己流を貫きながら、自分の納得する味を徹底して追究、研究を重ねて作り上げたのが、この「カレーハウス・ラハイナ」のカレーです。

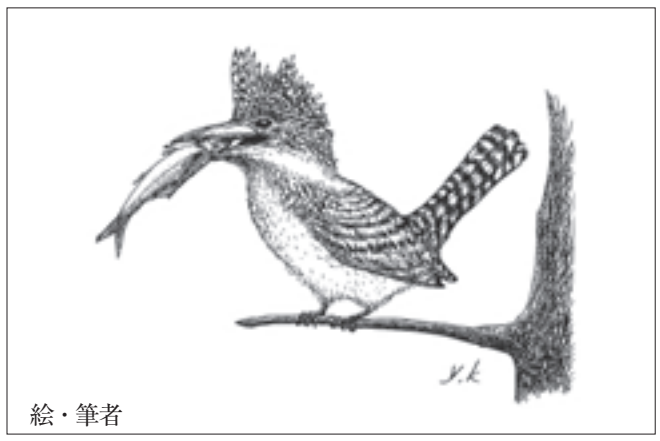
「ラハイナ」は、佐々木さん夫婦がハワイを旅して気に入った憧れの地の名前で、将来、この地に「カレーハウス」をオープンしたいとの夢から付けた名称だそうです。

佐々木さんは城北時代、中学・高校と野球部に所属し、6年間、直球一本の剛腕エースとして活躍。現在は、OB会幹事を務めることから、仲間の来店も多く、「カレーハウス」が、OB会の「クラブハウス」のような賑わいになることもあるそうです。

ご近所の常連さんが多いのも特徴です。テレビ東京の「出没！アド街ック天国」にも紹介されたとおり、本格的なカレーが安くて美味しく食べられる、地域密着型の気楽なカレー屋さんです。オーナーこだわりの逸品を、ぜひ味わってみてください。

営業
11時～21時
日曜・祭日は休み
電話
03―3967―8032

動物難病研究所報告
「近眼のヤマセミ」
加部 吉男（６回生）



絵・筆者

現在、私は世界動物難病研究所所長と称して、世界の動物の病気を研究し、報告することを生業としています。勿論フィクションですが。

始まりは、雲雀が高空で囀っているのを見た友人が、雲雀が高所恐怖症だったら困るだろうな、というのを聞き、動物の持つ特性と、我々の知る病気とが結び付くと、治し難い病気になるだろうと考えたことでした。

コウノトリが筋無力症になると、赤ん坊を運ぶことができない。虫歯のカミキリムシは、最大の武器の牙が使えず、花粉症のミツバチは蜜を集められず、EDのオットセイはハーレムの維持が難しい、などです。

現在は個々の症例の報告をしていますので、その一例を提示します。

わが国で見られるカワセミ科の鳥は、カワセミ、ヤマセミ、アカショウビンの3種類です。

カワセミは渓流の宝石と呼ばれる美しい鳥で、漢字では翡翠とも書かれます。光が当たると青色に輝く体羽が特徴的です。

ヤマセミは白と黒のツートンカラーで、頭に大きな冠羽が見られます。

アカショウビンは、嘴から脚まで全身を赤系統で統一している渡り鳥です。

いずれの鳥も特徴的で、際立って美しく、造形の神の卓越した美的感覚が感じられます。カワセミ科の鳥の食餌は川魚や水棲昆虫で、川辺の木の枝や石の上から、水中の小魚などを目掛けてダイビングし、捕食します。

水と空気では光の屈折率が異なるため、木の上で見えている魚と、実際の魚とでは位置が異なるのですが、上手く餌を捕まえるのは、この鳥の優れた視力に負うところが大きいのです。そのため近眼になると、餌を取り逃がすことが多くなります。

近眼のヤマセミに眼鏡を使用させてみましたが、入水時の水圧で眼鏡が外れてしまい駄目でした。コンタクトレンズも試してみましたが、入水時に眼球の保護のために素早く眼球の前面を覆う瞬膜がコンタクトレンズを外してしまい、やはり役に立ちませんでした。

近眼なんか小さな病気と思いがちですが、ヤマセミにとっては難病なのです。

近眼の／ヤマセミ今日も／すきっ腹

（元外科医　現在、毎日日曜画家）

一度食べたらやみつきになる焼肉店
太白橋（たいはくろう）
店主　千原慶千（28回生）
〒351-0012 埼玉県朝霞市栄町５-７-６
TEL（048）461-0339
営業時間　昼間営業は土日祭のみ（PM12:00～３:00）
普段はPM５:00～10:00
定休日　毎週火曜日第３水曜日

三興製パン㈱
代表取締役　竹宇治登志雄（36回生）
（本社）〒174-0076 東京都板橋区上板橋1-17-21
TEL 03-3933-1673 FAX 03-3933-2371

ark Law Office
アーク法律事務所
弁護士　大澤一司（33回生）
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1丁目10番16号
シーノ大宮ノースウイング14階B
TEL 048(644)1551(代)
FAX 048(644)1552

再生資源取扱リサイクル業
㈲村田商店
代表取締役　村田　稔（９回生）
〒106-0031 東京港区西麻布2-11-8
TEL 03-3400-3349 FAX 03-3400-2528

西村運輸株式会社
代表取締役　西村信雄（６回生）
〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町3-5-8
TEL 03-3925-4181㈹

我ら城北育ち
同窓生だより

昭和30年代の校舎風景

校訓は我が身を支える
宮田　正博（32回生）

城北高校を卒業して33年、城北から2㎞程の練馬区立開進第2中学校の校長に着任して2年目を迎えた。

当時の城北は、講堂は完成していたが、古い校舎で暖房がなく、使い捨てカイロもなかったので、白金懐炉を使っていた。生徒数も多く、確か3年O組まであったと思う。

当時の近藤薫明校長先生は校訓「着実・勤勉・自主」を繰り返し伝えてくれた。高校生だった自分は何も感じず毎日聞いていただけだったが、今振り返ると城北の精神として体の中に染み込んでいるのを感じる。

今、校長として朝礼等で生徒に話をすることが多いが、機会あるごとに本校の教育目標「自立・勤労・協調」を思い出させ、声に出して言わせるようにしている。いつの日かその精神が体の中に入り、一人一人の生徒を支えると思うからだ。

先日も本校の校庭で野球部が城北中学と練習試合を行った。城北中の野球部員は礼儀正しく大きな声で挨拶し、日頃の練習の成果を感じさせるハツラツとしたプレーで白熱した試合を見せてくれた。

そのプレーにも「着実・勤勉・自主」の精神が生きていると感じた。校長として、どちらのチームを応援してよいか悩む試合であった。

まさか自分が校長になるとは思いもよらなかったが、改めて校訓の大切さを実感している毎日である。自分自身も城北の校訓を胸に、これからも学校経営にあたり、日本の未来を担う生徒を育てていきたいと考えている。

（公立中学校長）

肥やしから〝宝〟の6年間
坂田　正彦（27回生）

城北！。この響きに母校への懐かしさだけではなく、人生の礎を築いた時間の重みを感じる。その延長、いま私は埼玉県深谷市で知的障害者の小さな下宿屋＝ケアホーム（共同生活介護）を運営し、多忙ではあるが楽しい日々を過ごさせて頂いている。

在学中の成績は誇れるものではなかった。多くの先生方にお世話になり、今もその面影を忘れることはない。中高の4年間担任をして頂いた故・生田穂高先生（英語）には、感謝の念が絶えない。人生ただ一発のビンタは思い出深く、己を見つめる一端を授けて頂いた（悪いのは私）。中学では剣道部から化学部に移り、後に7代目校長になられた帖佐正雄先生との必然的な?出会い…。昔も今も声をかけて頂き感謝である。東上線では、数学のカトケンこと加藤健治先生（6代目校長）、同じく国語のカトコウこと加藤功先生、数学の笹川俊明先生等々と、ご一緒して賑やかに帰った思い出も多い。

もちろん、数多の友人は心の財産（嫌な思い出も糧に）である。昨年、音信不通だった旧友と再会、意気投合して地元で音楽ライブを開催した。今後も、遥か10代であった彼らと再び出会い、人生行路を確認する作業が適えられたら幸いである。

中学卒業近く、音楽の笹倉強先生（合唱部顧問）に「君は歌がうまいなあ」と、ひと言褒めて頂き有頂天。高校入学とともに合唱部へ即断入部（他の部員も言われたそうな…）。先生の熱く厳しい指導のもと、NHKコンクール全国大会出場を果たし、ISMEパース大会では独唱までさせて頂いた。今も合唱はOB会だけでなく、仕事でも息づいている（一部「うるさいなあ」との声）。

ぞっこん合唱漬けのなか、「心障友の会」のボランティア会合に合唱部が参加する機会があり、これが、今の仕事の一歩として衝撃的な出会いとなった。社会に眼を向け「どげんかせにゃいかん」と、大学に入ってからもいろいろと活動をしてみた…。

大学卒業後、重度の障害者支援施設を皮切りに、工芸・陶芸そして音楽療法等を学びつつ、35年間、障害福祉の仕事をさせて頂いている。私の礎…城北6年間は生涯の肥やしであり、大切な宝である。

（NPO法人理事長）

城北サッカー部の思い出
水野　晃（27回生）

この度、大先輩の命令で、同窓会報に寄稿させて頂くことになりましたが、寄稿させて頂くのは今回が2度目になります。最初は、東京地方検察庁検事に任官した昭和61年のことでしたが、27年振りに城北時代、とくにサッカー部の思い出を寄稿させて頂きます。

私が城北高校に入学したのは、昭和47年4月のことでした。東京のサッカー強豪校であった城北高校に入学し、直ちにサッカー部に入部しました。当時の城北サッカー部は、常に東京代表を狙う強豪校でした。入部したものの、先輩部員とくに3年生の技術の高さに愕然としたことを記憶しております。

入学早々、3年生は前年度高校選手権ベスト4の帝京高校を撃破して関東大会出場、インターハイは決勝戦で惜敗し、冬の全国大会はベスト8で敗退したものの、2年先輩の皆さんの勇姿は、今でも鮮明に覚えております。

残念ながら、私が3年次は、東京都のベスト4止まりでしたが、先輩に強制された演芸会、火事で燃えてしまった部室、東京都予選で敗退した後の坊主頭、逃げ出してしまった苦しい夏合宿等々、思い出は尽きません。

その後の城北高校サッカー部は、私達が可愛がった後輩が一度だけ全国大会に出場してくれたものの、最近は残念な成績しか聞きません。

しかし、サッカー部に限らず、城北の後輩達や同窓の皆さんが、城北魂を発揮して各分野で活躍することを念じて止みません。

私自身は、城北高校を卒業して38年が経過しましたが、今でも私の人生を支えているのは、城北サッカー部での厳しい練習と、同級生、先輩・後輩との絆だと思っております。人生でもっともお世話になった顧問の小高先生や一部の先輩、そして同級生の栗原や後輩の伊藤君らが既に鬼籍に入ってしまっていますが、私は、彼らの分まで城北魂を発揮し、健康に留意して、また30年後には長老として同窓会報に3度目の寄稿をさせて頂きたいと思っております。

（弁護士）

「相続の専門家」になる覚悟で
神谷　直（36回生）

私は、現在、相続に特化した司法書士・行政書士事務所を開業しております。相続という誰もが一度は直面する問題で、専門家として役に立ちたいと思っているからです。

城北高校を卒業したのは、もう30年も前のことです。城北高校のことを思い出すと、今でも懐かしさが込みあげてきます。例えば、遅刻しそうで上板橋の駅から校門まで全力疾走したこと、毎日クラブ活動（弓道部）に精を出したこと、実に個性的な先生方に恵まれたこと、勉強にクラブに頑張る仲間がいたこと等々です。特に弓道部を3年間続けたのは、大きな自信となりました。厳しい練習に耐えられたのは、やはり同級生の仲間がいたからです。部活動の後に、仲間とよく食べに行ったラーメンの味が忘れられません。

大学に入り、弁護士を目指して、卒業後までも頑張りましたが、力が及びません。しかし、法律を職業とする夢を捨てられず、司法書士事務所で働きながら、司法書士試験の勉強を始めました。苦労しましたが、合格することができました。

司法書士事務所での修行中、相続問題に悩む方にお会いしました。「何とか力になれないか！」と思いました。これが、そもそも相続を専門にしようとするきっかけになりました。

平成23年に独立開業し、事務所をスタートさせました。迷うことなく、相続問題を中心に扱うことにしました。具体的には、①遺言書の作成、②自宅や銀行預金の相続手続き、③遺産分割協議書の作成、④成年後見・任意後見、⑤相続に関する相談等々です。子供が多くても、少なくても、争って欲しくないというのが親の本音のはずです。また、高齢化社会となり、認知症400万人超と言われる現代にあっては、介護と相続の問題が複雑に絡み合い、何を誰に相談していいかわからないのではないでしょうか。

その悩みに耳を傾け、要点を整理し、適切なアドバイスをするのが私の役目です。城北時代に培った粘り強さを生かして、「相続の専門家」として自分の職業人生を全うする覚悟です。

（司法書士）

同窓会報の用紙について

本会報の用紙は「株式会社巴川製紙所」様より提供して頂きました。厚く御礼申し上げます。

中台ゴルフセンター
●6名の充実したスタッフで各種ゴルフスクール好評開催中
髙野昭夫
（８回生・野球部OB）
〒174-0044 東京都板橋区相生町19
TEL 03-3932-1194　FAX 03-5398-1990

米穀・不動産
売買・賃貸・管理
有限会社 南雲商店
代表取締役　南雲芳憲
（24回生）
〒174-0064 東京都板橋区中台3-3-8
TEL 03-3933-1531（不動産）
TEL 03-3935-0681（米　穀）
FAX 03-3935-0682

宝石　貴金属　製造現金卸
（有）きしの宝飾
代表取締役社長　岸野　豊
（13回生・ラグビー部OB）
〒110-0005 東京都台東区上野5-25-5
岸野ビル1F
TEL 03（3834）6595（代表）
FAX 03（3834）6600

ORC 安藤歯科・ORCインプラント矯正センター
最新の医療設備と世界標準の診療コンセプトで、すべての患者さんにご満足いただけるような最良の歯科医療をご提案させていただきます。
医療法人社団新正会理事長・安藤正実（30回生）
〒351-0012 埼玉県朝霧市栄町4-5-11 東武東上線・東京メトロ有楽町線「和光市駅」徒歩15分／「朝霧駅」徒歩15分
総合受付048-462-1800　安藤歯科WEBサイト　http://ando-shikd.jp/
インプラント受付0120-941-801　安藤歯科インプラントガイド　http://ando-implant.jp/
■診療時間　平日9:30～13:00/14:30～19:00
土曜日9:30～15:00■休診日/木曜・日曜・祝日

平成26年　大学入試結果（中間報告）

国公立大学

大学名	合格者数 平成26年 全体(内現役)	合格者数 平成25年 全体(内現役)
北海道	6 (3)	5 (2)
東　北	9 (8)	14 (7)
筑　波	4 (2)	11 (9)
群　馬	2 (2)	2 (1)
埼　玉	3 (0)	4 (2)
千　葉	7 (6)	10 (6)
東　京	18 (10)	12 (7)
東京工業	18 (15)	21 (13)
一　橋	4 (0)	6 (5)
東京外国語	1 (1)	6 (1)
東京学芸	3 (2)	5 (3)
東京農工	6 (6)	6 (5)
横浜国立	2 (2)	12 (9)
京　都	3 (2)	2 (1)
大　阪	2 (1)	2 (1)
首都大学東京	2 (1)	8 (1)
横浜市立	1 (0)	1 (0)
帯広畜産	1 (1)	0 (0)
山　梨	1 (0)	0 (0)
金　沢	1 (1)	0 (0)
高　知	1 (0)	0 (0)
大　分	1 (0)	0 (0)
鹿児島	1 (1)	0 (0)
福島県立医科	1 (1)	0 (0)
東京海洋	1 (0)	0 (0)
気　象	1 (1)	0 (0)
防　衛	2 (2)	1 (1)
防衛医科	1 (1)	3 (3)
国公立その他	0 (0)	17 (10)
国公立計	103 (69)	148 (87)

国公立大学医学部	11 (9)	19 (11)

※平成26年分は、平成26年3月20日現在判明分です。

私立大学

大学名	合格者数 平成26年 全体(内現役)	合格者数 平成25年 全体(内現役)
青山学院	21 (10)	15 (7)
学習院	53 (41)	36 (27)
北　里	10 (6)	10 (8)
慶應義塾	98 (69)	67 (42)
工学院	11 (8)	11 (5)
國學院	5 (3)	11 (6)
国際基督教	3 (3)	1 (1)
駒　澤	14 (5)	11 (7)
芝浦工業	66 (39)	54 (11)
順天堂	1 (1)	5 (3)
上　智	41 (29)	33 (25)
成　蹊	14 (4)	23 (8)
成　城	6 (4)	4 (0)
専　修	11 (2)	0 (0)
中　央	52 (17)	61 (35)
東　海	5 (2)	0 (0)
東京電機	12 (7)	10 (4)
東京農業	13 (12)	8 (4)
東京理科	145 (93)	145 (79)
東　洋	14 (4)	5 (3)
獨　協	3 (0)	4 (2)
日　本	45 (24)	47 (26)
法　政	41 (19)	39 (19)
武　蔵	3 (1)	6 (5)
東京都市	4 (2)	5 (1)
明　治	134 (89)	134 (93)
明治学院	6 (5)	16 (8)
立　教	46 (24)	44 (25)
早稲田	167 (131)	152 (102)
同志社	5 (3)	8 (8)
立命館	8 (5)	6 (5)
その他私立	77 (43)	88 (42)
私立計	1134 (705)	1059 (611)

私立大学医学部	23 (16)	42 (12)

＝同窓会クラブ報奨制度＝ 喜びの受賞クラブ

中学・高校ラグビー部

高校野球部

高校美術部

中学・高校弓道部

○この度は、日々の活動を称揚して頂きありがとうございました。今後とも精進して参ります。（高校美術部）

○昨年、我が部では関東大会に初出場し、Dブロック優勝など良い結果を残すことができました。今回このように表彰して頂き大変光栄に思います。今後も一層練習に励み、頂いたボールを大切に使わせていただきたいと思います。（中学ラグビー部）

この一年の各クラブの活躍実績

弓道部…東京都高等学校総合体育大会に優勝。第8回東京都弓道団体選手権大会に優勝。

ラグビー部…第64回関東中学校ラグビーフットボール大会のDブロックで優勝。

野球部…夏の全国高校野球東京都大会（参加250校）で、40数年ぶりにベスト16に進出。最終戦でも優勝した関東一高に4対1と健闘。

美術部…個人を含め、クラブ活動として顕著な活動と実績が認められた。

＝柔道部OB総会＝

芳賀先生の傘寿を祝う

田崎　寛（22回生）

去る2月16日、城北学園柔道部の26年OB総会が池袋のパセラで行われました。恩師の芳賀徹先生、現役の真木康彦先生をお迎えして、52名のOBが参加しました。

62年の歴史がある柔道部は、参加メンバーに祖父と孫のような年齢幅がありますが、みんな同じ柔道部で青春時代を過ごした仲間ですので、和気あいあいと楽しい会になりました。

今回は恩師の芳賀先生が傘寿（数え年80才）を迎えられるため、皆でお祝いを致しました。（柔道部OB会長）

芳賀先生を囲んで

＝同窓生の本＝

『中井桜洲』出版にあたって

屋敷茂雄（著者・15回生）

中井桜洲は人口に膾炙している人物とは言い難い。維新史研究家以外は名前も聞いたこともないと思うが、「明治の奇人」としては知られている。大隈重信ですら自己の回想録のなかで「飄逸な奇人」として彼を紹介している。

しかし本人が聞いたら目を回すであろう奇想天外なエピソードばかりなので、彼の名誉のために、特筆されるべき事績を取り上げてみた。最大のものは、龍馬に協力して「大政奉還建白書」の草案作成に手を貸したこと、次に、やはり龍馬とともに「船中八策」の構想を練ったことである。彼の広範な交友関係は驚くべきもので、岩倉具視を筆頭に大久保利通、伊藤博文まで薩摩藩出身者に限らず多彩な顔ぶれが並んでいる。

（出版・幻冬舎ルネッサンス）

＝訃報＝

前同窓会長 吉田正美先生ご逝去

前同窓会長の吉田正美先生が、昨年8月1日、長野県の白馬岳山頂付近で滑落事故のため逝去されました。

先生は昭和31年に城北高校を卒業され、上智大学英文科をへて、昭和37年に母校城北学園の英語科教諭に着任されました。以来、40年の間に英語科主任、山岳部顧問等を務められ、母校城北教育の発展のために大いに尽力されました。

平成14年に定年退職された後は、城北学園同窓会の役員として、副会長・会長を歴任、同窓会活動の拡充と活性化に大いに貢献されました。

地元の坂戸市でも、少年野球チームのコーチを26年間続け、「山歩会」の会長を務めるなど、地域活動にも積極的に貢献して来られました。

温厚篤実な人柄から、誰からも愛される信頼の厚い先生でした。享年76歳。謹んでご冥福をお祈りします。

総会・ホームカミング

日　時　6月7日（土）

総　会　15時30分～　城北学園講堂

ホームカミング　16時30分～　城北学園大食堂（無料）

平成24年度　同窓会決算書

（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（単位：円）

費　目	24年度予算	24年度決算	差　異
前期繰越金	53,003,090	53,003,090	0
収入			
平成24年度卒終身会費	5,133,000	5,133,000	0
雑収入	80,000	83,711	△3,711
合　計	5,213,000	5,216,711	△3,711
支出			
交通費・日当	600,000	608,360	△8,360
会務担当手当	0	50,000	△50,000
交際・会議費	100,000	100,340	△340
総会・ホームカミング費	600,000	520,242	79,758
会報費	2,700,000	2,840,671	△140,671
通信費	100,000	32,170	67,830
HP管理費　HP維持費	200,000	200,000	0
データ管理費	50,000	45,000	5,000
物品購入費	50,000	0	50,000
雑費	50,000	13,010	36,990
予備費	0	0	0
合　計	4,450,000	4,409,793	40,207
当期剰余金	763,000	806,918	△43,918
次期繰越金	53,766,090	53,810,008	△43,918

＊繰越金明細　三井住友銀行常盤台支店　普通預金　1,798,696円
三井住友銀行常盤台支店　定期預金　52,011,312円
合計　53,810,008円

平成25年4月3日
城北学園同窓会

監事　監事

学割もございます
大小ご宴会にどうぞ
中国料理 ニュー上海
〒174-0076 東京都板橋区上板橋2-35-13
南口名店ビル2F
TEL 03-3931-2381

おのざわ歯科クリニック
ONOZAWA DENTAL CLINIC
●障害者歯科・インプラント
キッズルーム完備
院長・歯学博士　小野澤　智史
（36回生）
〒174-0071 東京都板橋区常盤台4-21-2
TEL 03-3931-8100（上板橋北口）

24時間御用命承ります
八光運輸株式会社
代表取締役　関根忠夫
（9回生）
〒174-0046 東京都板橋区蓮根3-21-1
TEL 03-3960-7683㈹ 休日・夜間 03-3961-8181
FAX 03-3960-7561 携帯 080-6556-3548

相続の専門家
神谷司法書士事務所　神谷行政書士事務所
司法書士 行政書士　神谷　直
（36回生）
相続アドバイザー協議会認定会員
〒211-0004 川崎市中原区新丸子東1-791-3
朝日サンライズ多摩川309号
【事務所】TEL 044-948-9260　FAX 044-948-9261

三宅胃腸科外科
院長　三宅雅治（13回生）
〒243-0434 神奈川県海老名市上郷669-2
TEL（046）233－2555
FAX（046）233－2556
（海老名駅西口2分）